

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	手嶋 祥大
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	〇地域おこし協力隊員として着任した隊員の起業を助成		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	地域おこし協力隊起業支援事業																
施策の目的	都市圏などから本町へ移住し、地域おこし協力隊として活動した隊員が、本町に定住・定着できるように起業資金を補助し、本町の活性化を図ることを目的とする。																
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●地域おこし協力隊卒業者を対象に、町内での起業支援として補助金を交付する。 ●上限1,000千円。支給率10/10。 ●起業支援を行うことで、本町への定住を促進する。 																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	3	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18		補助金				1,000			一般財源				1,000				
計						1,000		計						1,000			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
協力隊の受入れ人数	目標	2	2	2	2	2	A
	実績	2	3	/	/	/	
協力隊の卒業後の定住率	目標	60%	60%	60%	60%	60%	A
	実績	87.5%	90.9%	/	/	/	
卒業隊員の起業支援活用実績	目標	50%	50%	50%	50%	50%	A
	実績	50%	50%	/	/	/	
【評価】							
<p>●R3年度は対象者2名に対し、1名が起業支援補助金を活用した。</p> <p>R3年度に起業した隊員の事業内容としては、隊員の得意とするICT技術を活用したEC販売サイトの運営強化や加計呂麻島におけるICTサポート事業、珈琲事業（生産～販売）を実施した。任期中より加計呂麻島を中心に活動しており、卒業後も加計呂麻島の活性化に寄与している。</p> <p>また、本町の卒業隊員の動向として、11名中10名が本町在住であり、定着率は90.9%となっている（全国平均約60%（R2.8総務省））。今後の協力隊員にも継続して本町に定住してもらうため、任期中から卒業後のプランについてのフォローを実施していく。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	保健福祉課	係名	介護福祉係	担当者名	登島 純一
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	〇町づくりの応援隊としてシルバー人材を活用		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	瀬戸内町シルバー人材センター運営費補助事業																
施策の目的	高齢者の就業を促進することにより、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、その家族や地域社会に活力を生み出し、ひいては地域社会の活性化につながる。																
具体的な施策内容	地域社会に密着した「臨時的かつ短期的」な仕事を家庭、事業所、官公庁等から引き受け、これを加入している会員へ、その希望や能力に応じて斡旋するシルバー人材センターに対し、運営費を補助する。																
【経費内訳】																	
款	3	項	1	目	3	事業	1	(単位：千円)	款	21	項	1	目	2	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	2	補助金			3,200		4	(過疎債ソフト分) シルバー人材センター運営費補助事業			3,200						
計					3,200		計					3,200					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
シルバー人材センター会員数	目標	100人	100人	100人	100人	100人	B
	実績	59人	62人				
【評価】							
<p>会員数62名で、合計165件27,529,720円を受託。</p> <p>延べ3,849名の方が従事され、配分金として総額25,908,190円を支出。</p> <p>高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すとともに、地域社会の活性化につながった。</p> <p>R4年度内で臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る）を希望する高齢者のために、職業紹介事業又は一般労働者派遣事業を開始する準備を行い、R5年度以降の更なる事業実施の拡大につなげる。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○本町事業所が若者を新規雇用する際の必要経費を助成		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	瀬戸内町起業家支援補助金交付事業（若者新規雇用）																
施策の目的	町内において新たに35歳未満の若者を正規雇用した事業所を支援する。																
具体的な施策内容	<p>起業家に雇用される常勤の雇用者のうち、事業の開始等に伴い新たに雇用される町内に住所を有する者で、雇用の日から継続して6か月以上雇用され、雇用保険に加入する者（ただし、3親等内の者を除く。）に補助する。</p> <p>起業家支援事業で雇用した者には20万円、企業立地等促進事業で雇用した者には45万円</p>																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
		R3は、経費なし。															
計					0		計					0					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
若者新規雇用者数（人）	目標	3	3	3	3	3	D
	実績	4	0				
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は若者新規雇用として3名を目標としていたが、新規の雇用はなかった。 瀬戸内町商工会と協議しながら、町内事業所が若者を雇用しやすいよう、瀬戸内町起業家支援補助金交付要綱の見直しも図り、よりよい補助金となるよう取り組んでいく。 押印を無くし、申請書類等の簡略化を図る。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	〇在宅オペレーター育成のための研修会		

会計区分	一般会計	会計名							
事業名	在宅オペレーター育成事業								
施策の目的	文字入力や採点作業、コールセンター業務など、好きな時間に自宅のパソコンで仕事を行うことができる在宅オペレーターの育成を目指す。								
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅にパソコンを所有し、インターネットを使える環境にある方 ・在宅オペレーターの研修を受け、必要なスキルを身に付けることにより、好きな時間に仕事を行うことができる。 ・業務は完全出来高制 								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R3は、経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2 (H29分)	R3 (H30分)	R4 (R1分)	R5 (R2分)	R6 (R3分)	自己評価
1人あたりの町民所得 (千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,277	2,454				
県民所得との対比 (%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90.0	A
	実績	90.6	97.8				
【評価】							
令和3年度は在宅オペレーター育成の具体的な取組はなかったが、コロナ禍の現在において、在宅勤務の形態は拡大している。在宅においても仕事しやすいよう、環境整備のために必要な助成制度の創出や情報提供などを行っていく。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○新規就業者の漁船漁具等の初期投資を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	新規水産業就業者特別対策事業		
施策の目的	離島漁業の維持、発展のためには新規就業者の定着が重要であるが、新規就業者は自ら漁船、漁具等を取得する必要がある。そのために初期投資負担を軽減し新規就業者の定着を図る。		
具体的な施策内容	離島の新規就業者に対する漁船、漁具等のリースの取組を支援する。 ※支援期間は原則1年(最長3年)		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規漁業就業者数	目標	1	1	1	1	1	D
	実績	0	0				

【評価】

R3年度も新規漁業者特別対策交付金を実施しましたが、申請がありませんでした。
漁業従事者に周知を徹底し、漁業に従事する意欲がある新規就業者を支援していきたい。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	徳田 みつみ
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○大島紬技能者養成所による織工育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町大島紬技能者養成所等維持管理運営委託料		
施策の目的	大島紬産業の振興及び大島紬産業の活性化を目的とし、養成所等の管理及び織工育成を図る。		
具体的な施策内容	委託料 3,778,000円 (一年間)		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	4	事業	4	(単位:千円)	款	21	項	1	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12	10	委託料				3,778			1	過疎債ソフト				3,700			
										(一般財源)				78			
計						3,778			計						3,778		

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
製織反数	目標	4	5	6	7	8	B
	実績	4	6				

【評価】

令和3年度新規入所生2名、1名在所生の3名が指導員のもと、製織技術向上に努めている。
町HP、インスタグラム等を活用し、紬組合の日常業務や大島紬の魅力などを紹介。また海の駅2Fに織機を設置し、卒業生による織の実演・体験を実施し、伝統継承に努めた。
今後も大島紬の魅力を発信し、その担い手の育成と大島紬産業の振興、活性化を図る。

【製織実績】

- 令和2年度 4反 220,000円 (7マルキ4反 綾緋)
- 令和3年度 6反 275,500円 (7マルキ1反、9マルキ3反、秋名緋1反、十の字1反)

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	手嶋 祥大
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○奄美群島における地域通訳案内士の育成事業		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	奄美群島広域事務組合負担金（地域通訳案内士事業）																
施策の目的	観光人材のインバウンド対応能力（接客能力、業務改善能力など）を高め、観光サービスの質を向上させることにより、訪日外国人旅行者等の地域への誘客・長期滞在や消費拡大へ繋げる。																
具体的な施策内容	①奄美群島広域事務組合主催の研修を実施。（通訳案内士、語学、ホスピタリティ、地元学、旅程管理、実地研修、救命研修） ②研修修了試験の実施 ③地域通訳案内士の登録 ④地域通訳案内士登録後も定期的なスキルアップ研修を実施																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳							歳入内訳										
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18		負担金			5,445			一般財源			5,445						
計					5,445		計					5,445					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	D
	実績						
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	D
	実績						
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。平成28年に事業が開始されて以降、群島全体で159名（英語123名、中国語33名、韓国語3名）の方が地域通訳案内士の研修を終了している。その内瀬戸内町在住者からは9名（英語8名、中国語1名）の方が研修を終了している。</p> <p>当事業は、今後見込まれる訪日外国人旅行者等の需要増加に対し、観光人材の対応能力向上の役割を担っており、誘客や長期滞在促進及び消費拡大へと繋げる為にも無くてはならない事業である。現在のコロナ過の時期を活用し、現在の地域通訳案内士へのスキルアップ研修を実施するなど、広域事務組合と協力していく。</p> <p>※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。R2からは目標に向けて、年次的に上昇。数値確定は、「経済センサス」において、年度終了の2年後に公表される。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	観光振興係	担当者名	屋田 昂紀
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-1
事業概要	○奄美群島における認定エコツアーガイドの育成事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	奄美群島エコツーリズム推進事業		
施策の目的	奄美群島の貴重な自然環境や歴史・文化の魅力を伝えるエコツアーガイドの育成・確保など、奄美群島の国立公園指定や世界自然遺産登録による観光客増に対応し、将来にわたって素晴らしい自然環境を残していくための活用方法についての取り組みを進めることを目的とする。		
具体的な施策内容	①エコツーリズム推進協議会 ②エコツアーガイド初期段階育成事業 ③奄美群島エコツアーガイド認定制度の運用		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R 3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
エコツアーガイド認定者数	目標	5	10	12	14	15	B
	実績	5	6				
【評価】							
世界自然遺産登録を受け、観光ガイドの資質向上が必要である。エコツアーガイド認定者は順調に増えてはいるが、令和4年度で初期段階育成事業が終了となるため、育成のための新たな事業の展開を考えたい。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	教育委員会総務課	係名	総務係	担当者名	静島 春玲
----	----------	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○各種助成（検定試験・スポーツ文化活動・通学・修学旅行）		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	古仁屋高校各種補助金																
施策の目的	本町の最高学府である古仁屋高校の生徒を対象に,各種補助金等をとおして,保護者の負担軽減や生徒の学力向上を目指すことで活性化,存続につなげることを目的とする。																
具体的な施策内容	各種検定試験料半額補助・部活動活動補助・遠距離通学費補助・修学旅行費補助。																
【経費内訳】																	
款	10	項	1	目	4	事業	2	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳							歳入内訳										
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
18	45	スポーツ・文化活動		500			(一般財源)		2,202								
	47	修学旅行費助成		740													
	48	生徒通学費		389													
	90	各種検定試験等受験助成		573													
計				2,202		計				2,202							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
古仁屋高校への支援	目標	100%	100%	100%	100%	100%	A
	実績	100%	100%				
【評価】							
古仁屋高校に対しての各種補助金は,生徒数の減少に伴い,年々少なくなってきたが,継続して古仁屋高校の存続や活性化につなげたい。							
※KPIは活用率。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	静島 春玲
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○古仁屋高校のPRや高校生の学校活動に対し地域として応援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	古仁屋高校生徒が、学校生活以外でも活躍し、地域住民と交流することによって、地域住民に古仁屋高校の必要性を再確認していただき、町内小中学生及び町外に対してもアピールし、生徒数の増加及び維持を図る目的である。		
具体的な施策内容	年1回、ポスター作成を行い、古仁屋高校が各小中学校や関係機関へPRとして配布。また、地域活動を積極的に参加していただくことで、町の最高学府として地域貢献活動をしていただくことで振興対策をはかっている。また、学校生活以外での活躍に対し、一部補助等を支出していく。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)		
歳出内訳								歳入内訳											
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額					
18	2	補助金				196			(奄振)	留学支援事業及び補助金				196					
計								196		計								196	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
地域応援団補助 ※執行率	目標	50%	55%	60%	60%	60%	C
	実績	38%	44%				

【評価】

- PR用のポスターについては、例年通り作成できたが、その他の活動がコロナ禍により実施が困難となり、実施しなかった。
- 応援団補助は、生徒が学校生活以外で活躍し、地域住民との交流することにより、地域住民に古仁屋高校の存在の必要性を再認識させ、また町内の小中学生や町外に対してPRすることが目的の1つでもある。町と高校で制度の在り方について再度確認し、学校生活以外で活躍している生徒に対し、補助をしていけるよう努める。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	静島 春玲
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	〇プログラミングを授業の一環として総合の授業へ取入を推進		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	古仁屋高校振興対策事業		
施策の目的	日本において、各学校でプログラミング事業を必須化しようとしている。その先駆けとして、県内でも普通科としていち早く取り組むことで、日本だけでなく世界で活躍できる人材を瀬戸内町から育成していき、古仁屋高校の活性化及び生徒の確保、そして町の活性化につなげていく目的である。		
具体的な施策内容	古仁屋高校のカリキュラムとして「総合的な探求の時間」があり、1年生をターゲットに3学期に計6～8時間程度、導入から基礎知識を外部講師（奄美情報処理専門学校の講師）を招聘し、指導していただく。		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	4	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)		
歳出内訳								歳入内訳											
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額					
7	8	講師謝金				90			一般財源				90						
計								90		計								90	

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
プログラミング教室満足度 ※アンケートをR4年度より実施予定	目標	50%	50%	50%	50%	50%	B
	実績						
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ●この教室は、R2年度より実施している事業であるが、3年度も引き続き「総合的な探求の時間」を活用し、1年生を対象に実施。 ●昨年は、講師1人で教室をしていたが、3年度は、補助員（奄美情報処理専門学校の生徒）を付け実施。その効果もあり、昨年度よりより分かり易い授業となった。 ●4年度は、更に精度を上げた取り組みを実施したい。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	古仁屋高校活性化対策室	担当者名	静島 春玲
----	-----	----	-------------	------	-------

基本目標	1	項目	1-1-2
事業概要	○地域の職場を体験学習することで将来の地元就職に寄与		

会計区分	一般会計		会計名						
事業名	インターンシップ事業								
施策の目的	インターンシップを行うことで、働くことや創造することの喜びを体得し、それにより自主性・積極性・責任感・言葉遣いやマナーなどを身につけさせる。また、職場の人々との協力や協調性の大切さを体得させ、望ましい勤労感・職場観を養い、自己の特性と将来への進路意識を高める目的とする。								
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事務に関する業務（文書作成、記帳、伝票整理、情報機器等の操作等） ・販売営業に関する業務（応対、包装、商品の受け渡し、商品知識、商品管理（収納・整理・整頓、レジ打ち、店内清掃等） ・福祉・保育に関する業務（介護実習、保育実習、園内清掃等） ・製造に関する業務（商品製造・管理、器具の取扱い、清掃等） 								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R 3は、経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
インターンシップ満足度 ※アンケートをR3年度より実施予定	目標	未実施	80%	80%	80%	80%	A
	実績	—	80%				
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ● 2年生が地域の事業者等と段取りを進め、生徒の希望に応じた職場での実習を行った。実施事業所は17事業所で36名の生徒が体験を積んだ。4年度は新たな事業所を実習先として開拓し、実習先として加えるなど、観光産業も含めた地域の活性化に取り組む団体等にも働きかけを強め、地域に密着した体験学習や体験実習等に発展させていく考えである。 ● 4年度以降はより多種多様な事業所で体験できるよう計画を立てる事とする。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	営農畜産	担当者名	徳田 和正
----	----	----	------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業経営を目指す人材の育成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町営農支援センター研修制度		
施策の目的	農業の基礎知識・技術に関する実地研修を行い地域農業の振興に貢献しうる人材の育成		
具体的な施策内容	①農業基礎講座 ②研修施設等を活用した実践研修 ③その他就農に向けた各種研修会への参加等		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	5	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名			金額				細節	費目名			金額				
1		会計年度任用職員報酬			1,748				(一般財源)			6,536					
3		期末手当(会計年度任用職員)			189												
4		社会保険料など			311												
8		旅費など			75												
10~13		需用費・手数料・委託料・借上料			3,523												
15		園芸用材料費			690												
計					6,536				計					6,536			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
研修受入者数	目標	/	2	2	2	2	A
	実績	/	2	/	/	/	
【評価】							
令和3年度は2名の研修生を受け入れ、農業の基礎知識を身につけるために、果樹・野菜、土壌・肥料、経営改善等の講座制研修を行い、研修ハウスで実習する事ができた。							
また、「牛飼い塾」で畜産の情報・知識を提供することで、畜産における新規就農者の発掘。育成に努めた。 ※令和3年度から評価指標を変更しました。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業次世代人材投資事業で就農直後の経営を安定化		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	農業次世代人材投資事業																
施策の目的	次世代を担う農業者となることを意向する者に対し、農業次世代人材投資資金を交付することで就農直後の経営の安定を就農意欲の喚起を図る。																
具体的な施策内容	●経営開始型給付実績 令和3年度 対象者 6名×1,500千円=9,000千円																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	4	事業	4	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
10		需用費			168		17	農業次世代人材投資事業補助金			9,100						
18		負担金, 補助及び交付金			9,000			(一般財源)			68						
計					9,168		計					9,168					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
新規就農者数	目標	4	4	4	4	4	C
	実績	2	2				
認定新規就農者数	目標	3	3	3	3	3	B
	実績	1	1				
【評価】							
●経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する経営開始型給付金を給付することで、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着促進が図られた。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	城山隆志
----	-----	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	〇地域ぐるみでの農地環境の保全（多面的機能活動推進事業）		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	多面的機能支払事業																
施策の目的	水路、農道、ため池および法面等、農業を支える共用の設備を維持管理するための地域の共同作業に支払われる交付金である。																
具体的な施策内容	補助率は国50%、県25%、町25% 農業者および地域住民等は、グループ（活動組織）をつくり、活動計画書を提出する。グループはそれをもとに市町村と協定を結び、共同作業を行った。 市町村は、活動の実施状況の確認等を行った。																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	13	事業	2	単位：千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	2	多面的活動推進事業			3,942		9	多面的機能支払い交付金（本体）			2,956						
								（一般財源）			986						
計					3,942		計					3,942					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
活動組織数	目標	9	9	9	10	10	C
	実績	9	9	/	/	/	
活動面積（ha）	目標	126	126	126	140	140	B
	実績	126.1	126.1	/	/	/	
【評価】							
平成19年度から行っている事業であるが、リーダー及び事務を行う人材が確保できないために、活動組織の増加がない状態になっている。							
ピーク時には10組織143.3haになったが、令和3年度は9組織126.1haとなった。							
休止中の組織や意欲のある集落等に地元説明会などを行い、活動組織の増加につなげたい。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	武富 光希
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農地の集約を図り農地の貸借を実施（農地中間管理事業）		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農地中間管理事業		
施策の目的	農地中間管理事業を通じて、農地の貸借をおこない、農地の集積・集約化、農業経営の規模拡大、新規参入等による農用地等の効率的利用を促進し、農業の生産性の向上を図る。		
具体的な施策内容	(1) 農地の貸し借りに関する相談等窓口 (2) 農用地等の借受・貸付等の推進 (3) 農用地利用配分計画案の作成 (4) 農用地等の利用状況の把握、契約等の解除、農用地等の一時貸付		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	4	事業	5	(単位：千円)	款	20	項	4	目	2	節	1	(単位：千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	節	細節	費目名				金額				
1		報酬				1,626	1		農地中間管理事業委託金				2,035				
4		共済費				238			(一般財源)				55				
10		需用費				210											
11		役務費				10											
13		借上げ費				6											
計						2,090	計						2,090				

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
農地転貸面積	目標	4ha	4.2ha	4.4ha	4.6ha	4.8ha	B
	実績	4.3ha	2.2ha	/	/	/	
【評価】							
<p>●農地借受面積 2.2ha (節子12,554㎡, 伊須3,355㎡, 嘉鉄2,690㎡, 篠川2,961㎡, 久慈64㎡) 農地転貸面積 2.2ha, 25筆</p> <p>●高齢化や様々な理由によって農地の維持管理が出来なくなり、利用されない農地が存在している。そのような農地を必要としている方や有効利用してくれる方に向けての情報提供や農家の方々への聞き取り等によって、農地中間管理事業を通して活用してもらう。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などを解消		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業・農村対策事業（荒廃農地開拓事業）		
施策の目的	荒廃農地を作物生産可能な農地へ復旧するため、町が再生作業（重機による伐根、整地、耕耘）を行い		
具体的な施策内容	荒廃農地を作物生産可能な農地へ復旧するため、町が再生作業（重機による伐根、整地、耕耘）を行う。（農業者は3万円/10aを負担する）		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	6	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額				
1		報酬				4,137		(一般財源)				7,628				
3		職員手当等				496										
4		共済費				733										
10		需用費				2,006										
11		役務費				34										
13		使用料及び賃借料				222										
計						7,628	計						7,628			

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
荒廃農地の解消面積（a）	目標	400	300	300	300	300	B
	実績	251	242				
【評価】							
<p>荒廃農地の解消作業については、農家個人が行う場合多大な労力と経費が必要とされることから、今後においても町単独事業として継続していきたい。</p> <p>また引き続き、災害時における対応処理や各課からの緊急的な依頼等に協力していきたい。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	城山 隆志
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○中山間地域の立地条件等に沿った農業生産基盤等の各種整備		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	(奄振) 県営中山間地域総合整備事業																
施策の目的	農山漁村地域において、農業農村施設の整備に係る県営事業の負担金。																
具体的な施策内容	中山間地域総合整備事業により、県営事業において農業用排水施設、農道、ほ場整備、農業集落道路、農業配水管施設等を整備する。																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	12	事業	1	位:千円)	款		項		目		節		位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	1	負担金			7,377			一般財源			7,377						
計					7,377		計					7,377					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
瀬戸内東部地区 ※進捗率	目標	26	32	42	52	64	B
	実績	26	33				
加計呂麻 (通作保全・計画策定) ※進捗率	目標	47	100	-	-	-	B
	実績	47	100				
加計呂麻 (通作保全・対策) ※進捗率	目標	-	-	-	17	44	D
	実績	-					
【評価】							
瀬戸内東部地区は、嘉鉄1号集落排水路と阿木名1号集落排水の完成を目指し、また、R5以降の施工のための測量設計業務委託等を令和4年度に行います。							
加計呂麻 (通作保全) は計画策定を行い、令和5年度からの事業実施を目標とします。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	〇たんかん等の苗木購入を助成し、農家の所得向上を促進		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	果樹産地育成支援事業																
施策の目的	有望な熱帯果樹品種（たんかん、津之輝、アボカド）の苗木購入費の一部助成を行うことで、農家の生産意欲の向上とコスト削減を図り、果樹産地の拡大を図る。																
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●果樹苗木の購入費の1/2助成 ・たんかん苗木 2,086本（助成額1,167,000円） ・津之輝苗木 675本（助成額 441,300円） ・その他カンキツ 266本（助成額 117,400円） ・すもも苗木 177本（助成額 90,200円） ・アボカド苗木 135本（助成額 423,000円） 																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	14	事業	5	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18		補助金			2,238			(一般財源)			2,238						
計					2,238		計					2,238					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
たんかんの新規植栽面積（a）	目標	333	400	300	300	300	B
	実績	538	342				
津之輝の新規植栽面積（a）	目標	60	60	60	60	60	A
	実績	87	117				
アボカドの新規植栽面積（a）	目標	50	50	50	50	50	B
	実績	23	33				
【評価】							
果樹類(たんかん、津之輝)の苗木購入費を助成することで、果樹生産者の規模拡大や新規参入者の確保等に繋がり、栽培面積の向上と産地化への推進が図られている。今後も継続または拡充を行い農家所得の向上に繋げていきたい。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○営農用ハウス整備及び営農技術研修（農業創出緊急支援事業）		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業創出緊急支援事業（推進事業・条件整備事業）		
施策の目的	収益性の高い園芸品目を中心とした農業の振興を図るため、災害に強い施設等の整備や付加価値の高い農業生産の推進を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●推進事業（農業の生産基盤を強化するための取組、付加価値の高い農業生産の推進, 他） ●条件整備事業（共同利用施設整備, 共同利用機械の整備） 		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	14	事業	5	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名			金額		節	細節	費目名			金額					
8		旅費			576		4		推進事業補助金			1,677					
10~11		需用費・手数料			779				整備事業補助金			54,526					
12		委託料			419				(一般財源)			7,631					
13		使用料及び賃借料			115												
14		備品購入費			284												
15		原材料費			343												
18		補助金			61,318												
計					63,834		計					63,834					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
園芸品目の産出額の増加（千円）	目標	220,000	220,000	240,000	250,000	270,000	A
	実績	225,900	230,000				
園芸品目栽培面積の増加（ha）	目標	200	205	207	210	213	A
	実績	209	210				
営農用ハウスの整備（a）	目標	33	20	20	20	20	A
	実績	33	25				

【評価】

新規就農者などの農業担い手の確保や育成、園芸品目の栽培技術等の向上が図られており、園芸施設の整備や機械導入などのハード面と併せて一体的な農業施策が展開されてきている。

しかし、近年の気象変動等の影響による生産面の課題や消費者ニーズの多様化による販売戦略の見直し、コロナ禍の影響など今後の農業振興に係る不安要素は多々あるのが現状である。

このことから、これらの課題等に対応した新たな施策を立案し事業化に取組み、農家所得の向上に繋がっていきたい。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農業農村活性化推進施設等整備事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業・農村活性化推進施設等整備事業		
施策の目的	本町の食，農業及び農村の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため，農業生産基盤の安定化，生産施設の整備，農産物の付加価値化の向上などを一体的に支援する。		
具体的な施策内容	●蒸気ボイラー（EQS-502KM）一式 （せとうち物産館加工室へ設置）		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	8	事業	17	(単位：千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
17	1	備品購入費		2,530		5	補助金		1,265								
							(一般財源)		1,265								
計				2,530		計				2,530							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
農産加工室利用者数の増加 (人)	目標	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	B
	実績	2,000	2,000				

【評価】

●蒸気ボイラーを導入することで，農産加工に係る作業性の向上とスピード化など生産性の向上が期待される。また，利用者の利便性の向上による生産量と販売額の増加が図られ，地域経済の浮揚が期待される。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	武富 光希
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	農林水産物輸送コスト支援事業																
施策の目的	奄美群島においては、農林水産物を島外へ出荷する際に陸輸送に加えて海上輸送費が必要になり、本土より高い輸送コストを負担している。このことから、輸送コスト支援事業により流通体制の不利性を軽減することで、生産基盤の強化に取り組み農林水産物の経営強化を図る。																
具体的な施策内容	①農林水産物の輸送コスト支援 農産物（野菜、果樹、花き）437千円 ②原材料等の輸送コスト支援 たんかん段ボール 0千円 ③市町村事務費 4,678千円																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	3	事業	18	(単位：千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			節	細節	費目名			金額				
1		報酬			3,662			22		農林水産物等輸送コスト支援事業補助金（農産物）			3,977				
3		共済費			579					（一般財源）			701				
18		農林水産物輸送コスト補助金（農産物）			437												
計				4,678				計				4,678					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
輸送量（野菜）	目標	25,000kg	25,100kg	25,200kg	25,300kg	25,400kg	B
	実績	24,010kg	21,260kg				
輸送量（果樹）	目標	4,000kg	4,100kg	4,200kg	4,300kg	4,400kg	B
	実績	1,201kg	3,272kg				
輸送量（花き）	目標	140梱包	145梱包	150梱包	155梱包	160梱包	B
	実績	146梱包	141梱包				
【評価】							
●本土の比べ離島である奄美群島では出荷するための輸送料が係ってしまう。輸送コスト支援事業を活用する事により、本土で農業を行い出荷している人と対等な条件で出荷を行える事により、生産性や輸送量の向上を図る。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	城山
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	(奄振) 農林水産物輸送コスト支援事業		
施策の目的	農林水産物を島外出荷する場合、本土における陸上輸送費に加えて海上輸送費等が必要となり、本土に比べて高い輸送コストを負担している。このため、輸送コスト支援により流通条件の不利性を軽減し、本土産地と同一条件の環境を整える。		
具体的な施策内容	補助率は国70%、県15%、町15% 奄美群島で生産された農林水産物を出荷する際の県本土までの海上輸送費の一部を助成した。		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	3	事業	2	単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
18	2	農林水産物輸送コスト支援事業			8,274			22	農林水産物輸送コスト支援事業			7,033					
									(一般財源)			1,241					
計					8,274			計					8,274				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
木材チップ (t)	目標	4,800	/	/	/	/	C
	実績	1,584	/	/	/	/	
スタジイ等奄美産材 (t)	目標	/	2,090	6,480	6,800	7,200	C
	実績	/	955	/	/	/	
【評価】							
令和2年10月の木材チップ工場閉鎖に伴い、大島管内の木材搬出が停止した。							
令和3年度からは奄美産木材流通促進協議会を中心に、スタジイ等奄美産材の輸送コスト支援を行っていく。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	○農林水産物直売所を活用した地産地消の推進		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	農林水産物直売所運営事業																
施策の目的	出荷会員に対する生産面及び技術面での支援を強化し、安心・安全な地場産農産物及び加工品の販売額の向上を図り、地元住民や観光客へのサービス向上に努め、加計呂麻島の交流人口の拡大による地域活性化を図る。																
具体的な施策内容	●加計呂麻島のいっちゃん市場運営																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	16	事業	1	(単位:千円)	款	20	項	5	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10		需用費				1,147	145	農林水産物直売所販売手数料				3,930					
11		役務費				161	158	農林水産物直売所販売代金				1,386					
12		委託料				8,748											
13		使用料及び賃借料				16											
15		原材料費				743											
計						10,815	計						5,316				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
売上額	目標	21,486千円	26,000千円	30,000千円	34,000千円	37,000千円	B
	実績	21,486千円	24,396千円				
来店者数	目標	23千人	28千人	33千人	38千人	40千人	B
	実績	23千人	24千人				
【評価】							
<p>出荷者の掘り起こしや商品づくりを支援し、多様かつ消費者ニーズに沿った販売体制を構築する必要がある。</p> <p>特に農産物については、定期的な栽培講習会等を実施し、生産者の育成・技術向上による生産力の増大を図ることで、直売所の販売額アップと生産者所得の向上に繋げていく。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農政係	担当者名	田原 章貴
----	-----	----	-----	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-1
事業概要	〇パッションなど瀬戸内町産ブランドの確立		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農業創出緊急支援事業（条件整備事業）		
施策の目的	本町において生産意欲が高まっているマンゴーの生産拡大を図るため、栽培管理技術の向上対策と併せ、営農用ハウスの整備による収益性の高い農業の推進を図る。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ●営農用ハウス 中期展張Ⅱ型 ①2連×1棟(420㎡), ②4連×1棟(672㎡), 3連×1棟(504㎡), ③3連×1棟(882㎡) 計2,478㎡, 付帯施設(果樹棚, 灌水施設) ●事業実施主体: 本島地区マンゴー生産組合(3戸) 広野, 里山, 久保 ●実施地区: 久慈, 阿木名 		

【経費内訳】

款	6	項	1	目	7	事業	18	(単位: 千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位: 千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
18		補助金		58,963		1	農業創出緊急支援事業補助金		52,564								
							(一般財源)		6,399								
計				58,963		計				58,963							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
営農用ハウスの整備 (パッションフルーツ)	目標	33a	14a	10a	10a	10a	D
	実績	33a	0				
営農用ハウスの整備 (マンゴー)	目標	0	25a	0	20a	10a	A
	実績	0	25a				
【評価】							
●営農用ハウスを整備することにより、新規就農者及び担い手農家の規模拡大、経営基盤の強化が図られた。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	営農畜産	担当者名	徳田 和正
----	----	----	------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-2
事業概要	○繁殖雌牛を導入した農家に対し交配時期までの育成費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	肉用牛増頭推進対策事業																
施策の目的	本町の繁殖雌牛の頭数を確保すると共に畜産経営の安定を図る。																
具体的な施策内容	繁殖雌牛の資格を有すると認められた子牛を導入した生産者に対し交配時期までの育成費用として1頭につき35,000円を交付する。																
【経費内訳】																	
款	6	項	1	目	8	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		節	細節	費目名			金額					
18	2	肉用牛増頭推進対			1,085				(一般財源)			1,085					
計				1,085				計				1,085					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6									
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
子牛導入頭数			目標	40	40	40	40	40	B
			実績	64	31				
【評価】									
令和3年度は、31頭の有料繁殖牛を導入して育成費の助成を行った。									
令和4年2月の調査時の繁殖雌牛の飼養頭数は、419頭で、前年から5頭減少したが、導入牛の高値が続いている中で、概ね頭数の維持ができた。									

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林	係名	営農畜産	担当者名	徳田 和正
----	----	----	------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-2
事業概要	○飼料基盤の開発整備や農業用施設等の整備を支援		

会計区分	一般会計	会計名							
事業名	畜産基盤再編総合整備事業								
施策の目的	飼料基盤の開発整備や農業用施設の整備等を行い、肉用牛生産の核となる経営体を育成する。								
具体的な施策内容	①草地の造成改良及び整備 ②畜舎、家畜排せつ物処理施設等整備								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R 3は、経費なし。							
計			0		計			0	

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
施設等整備数	目標	0	1	1	1	0	D
	実績	0	0				
【評価】							
畜舎2棟、家畜排せつ物処理施設1棟を国庫補助事業にて承認済みであるが、事業実施予定年度が令和4年度以降となっており3年度に関しては実績が無い。早期に工事が着手できるよう国、県との調整に努める。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	城山
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○森林に適切な保育・除伐施業を実施（水源林造成事業）		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	水源林造成事業費		
施策の目的	健全で優良な森林資源の造成と水源かん養機能増進のため、対象森林に適切な保育（伐採）施業を実施する。		
具体的な施策内容	受託費：100%（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 鹿児島水源林整備事務所）、除伐（スギその他広葉樹）を5.64ha行った。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	3	事業	1	(単位：千円)	款	20	項	4	目	1	節	1	(単位：千円)		
歳出内訳								歳入内訳											
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額						
12		除伐事業委託料				1,718		1	水源林造成受託業務委託				1,718						
計								1,718		計								1,718	

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
除伐面積（ha）	目標	3.31	5.94	実施予定有 未計画	実施予定有 未計画	実施予定有 未計画	B
	実績	3.31	5.64				

【評価】

適切な保育施業を実施することにより、健全で優良な森林資源の造成と水源かん養機能増進を図る。令和2年度は阿木名地内5.64haを計画どおりに行った。瀬戸内町森林組合と協議を行いR4は篠川を計画をしたい。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	城山
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○木材利用・普及啓発（森林環境譲与税）		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	森林環境譲与税事業		
施策の目的	町が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進の支援等行う。		
具体的な施策内容	地方交付税100% 木材利用の促進や普及啓発活動により、森林整備や林業の活性化が図られた。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	8	事業	1	(単位:千円)	款	2	項	4	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	2	木製品作成				1,980	1	森林環境譲与税				3,949					
15	14	案内板材料費				850											
17	1	カメラ				73											
24	1	森林環境譲与税基金積立				1,046											
計						3,949	計						3,949				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
案内看板	目標	13	8	10	実施予定有 未計画	実施予定有 未計画	B
	実績	13	8				

【評価】

瀬戸内町では、地元小学校と連携して、木材利用を通じた地域住民への森林整備への理解の醸成に取り組んでおり、森林環境譲与税を主に木材利用に充てていく。

阿木名小学校と連携した木工体験学習及び庁舎内の一部を木製パーテーションで区切り、地元産木製テーブルを設置し（木のぬくもり会議室）として使用し、木材利用を既存木製看板（いっちゃん市場）の修繕を行い、木材利拡大を図ることが出来た。

令和4年度は諸鈍の学校と連携していきたい。

(令和 3 年度分) 第 2 期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	農林課	係名	農林整備係	担当者名	城山
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-3
事業概要	○里山林総合対策事業		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	里山林総合対策事業		
施策の目的	希少野生生物保護の観点から、奄美地域では松くい虫被害予防のため薬剤散布が実施できないことから、奄美地域に限り、道路沿線や集落背後地等における重要なマツへの薬剤の樹幹注入を図る。		
具体的な施策内容	補助金は県 70%、町 30% 道路沿線や人家背後等の優先箇所での薬剤の樹幹注入を実施することにより、住民の生活の安全の確保が出来た。		

【経費内訳】

款	6	項	2	目	6	事業	1	単位：千円)	款	15	項	2	目	4	節	2	単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
12	254	薬剤樹幹注入委託料			2,333			8	里山林総合対策事業補助金			1,631					
									(一般財源)			702					
計					2,333			計					2,333				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
薬剤樹幹注入 (本)	目標	67	77	103	92	128	B
	実績	67	75				
【評価】							
樹幹注入を集落及び学校施設等行っており、令和 4 年から令和 7 年度を繰返しの樹幹注入を行ってマツへの被害を防いでいく。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標		項目	1-2-4
事業概要	○水産物の輸送コスト支援により島外出荷の費用を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農林水産物輸送コスト支援事業		
施策の目的	水産物を奄美群島島外へ移出する場合や移出する農林水産物の原材料等を移入する場合、本土における陸上輸送費に加えて海上輸送費等が必要となり、本土より高い輸送コストを負担している。このため、奄美群島算水産物の生産・出荷に係る輸送コストを補助することにより、流通条件の不利性を改善し、生産振興や産業振興を促進する。		
具体的な施策内容	奄美群島で生産された水産物の出荷に要する鹿児島港又は鹿児島空港までの海上・航空輸送経費相当額を補助する。		

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
18	2	負担金、補助及び交付金		28,454		22	国庫支出金		19,918								
						22	県支出金		4,268								
							一般財源		4,268								
計				28,454		計				28,454							

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標	2,900t	2,400	2,400	2,400	2,400	C
	実績	2,950t	2,883t				

【評価】

前年度より微減であったがコロナが終息次第では、次年度は出荷量が増加すると予想される。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	加藤 孝幸
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○漁協が養殖業者からマグロを購入する費用を助成		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	マグロ消費促進事業		
施策の目的	新たな観光客が流入するきっかけとして、国内有数のクロマグロ養殖産地である本町の養殖クロマグロを地元飲食店や鮮魚店で気軽に食したり購入できる環境づくりを整える。		
具体的な施策内容	瀬戸内漁業協同組合(漁協)が町内の養殖業者から養殖クロマグロを購入し、町内飲食店が漁協より購入する。町が1kgにつき1,000円を補助金として漁協に支出することにより、町内における養殖クロマグロの消費拡大を行い、養殖クロマグロの町として地域振興に繋げる。		

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18	2	124_マグロ消費促進事業			1,581			一般財源			1,581						
計					1,581		計					1,581					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6

KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
マグロ入荷重量	目標	1,360kg	1,400kg	1,450kg	1,500kg	1,550kg	B
	実績	1,409kg	1,464kg				

【評価】

瀬戸内漁協が18本の養殖クロマグロを購入した。総重量1464.0kg、平均重量81.3kgで町内5業者の飲食店が海鮮丼や刺身などのメニューで町民及び観光客へ販売した。
今後も町内飲食店の取り扱いを増やし、養殖クロマグロの消費拡大に繋げるため、情報発信などを行っていく。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禮久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○水産物の出荷における一時保管施設整備（冷凍冷蔵施設整備）		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	浜の活力再生施設整備事業																
施策の目的	<p>瀬戸内漁業協同組合では、近海ではカツオマグロ等の漁船漁業、湾内では静穏な漁場を生かした魚類養殖が盛んに行われている。近年マグロ旗流し漁業への参入者が増えたこと等により、餌となる冷凍イワシ・サンマ等の需要が増えているものの、既存の冷凍庫はスペースが狭小で好漁や好天であつても餌が確保できないため出漁ができない状況にある。</p> <p>このようなことから、瀬戸内漁業協同組合が冷凍冷蔵庫を整備することにより、漁業者の使用する餌の安定的な供給をすることで、漁業者所得向上を図る。</p>																
具体的な施策内容	<p>新しい冷凍冷蔵施設整備を行い、十分な冷凍・冷蔵スペースを確保することにより、マグロ旗流し漁業等へ餌の安定供給を行うことで、群島内外の漁業者の出漁・出荷基地港としての機能強化を図る。このことにより、出漁回数が増加し漁業者の所得向上や、員外漁業者の生産コストの削減につなげられる。その他、未利用資源の雑魚を冷凍餌や加工品原料として活用・保管が可能となる他、島内出荷用冷蔵スペースの確保による業務の効率化により、経費の削減と漁協の経営体質強化が図られる。なお、既存施設については、組合員の冷凍保管庫、セリ前後の漁獲物の冷凍庫として有効活用する。</p>																
【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	5	(単位：千円)	款	14	項	2	目	4	節	1	(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名		金額		節	細節	費目名		金額							
		R 3は、経費なし。															
計				0		計				0							

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
冷凍・冷蔵利用量	目標	/	6t	7t	8t	9t	A
	実績	/	7t	/	/	/	
【評価】							
十分な冷凍・冷蔵スペースを確保することにより、漁獲物の鮮度保持や出荷調整、飼料保管など、生産活動に重要な役割をはたしている。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標		項目	1-2-4
事業概要	○種苗放流や漁場の管理・改善を実施（離島漁業再生支援）		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	離島漁業再生支援交付金事業																
施策の目的	構成員が行っている従来の漁業に加え、種苗放流、漁場の維持管理等、漁場の生産力の向上に関する取り組みを行い、新たに魚価の安定化を図るため、地場産の加工品の商品化に向けた研究をはじめ、漁食普及活動等の実施及び販路拡大を行うことにより、漁業所得の向上による漁業集落の活性化を目的とした。																
具体的な施策内容	<p>《集落が行った取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁場の生産力向上と利用に関する話し合いを年5回開催 ・種苗放流…クエ(大島海峡内5海域に700尾),スジアラ(大島海峡内5海域に640尾) ・サンゴ保全…オニヒトデ・シロレイシガイダマシを駆除 ・サメ駆除…漁業被害の原因となっているサメを買い取り方式により駆除(244匹) ・産卵場・育成上の整備…イカ産卵場(イカ柴)を400基整備し、追跡調査実施 ・密漁監視…町内の海岸全域に禁漁魚の看板40枚を設置し、密漁禁止の啓発を行った。 ・流通体制の改善…活魚槽を利用し、出荷調整を行った。(エビ類及び貝類) ・加工品開発…安価な水産物を使用した加工品開発を行った。(マグロ胃袋, シビ, ソデイカ等) 																
【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	2	単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	3	単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
18	3	負担金、補助及び交付金				9,445		3	国庫支出金				5,603				
								3	県支出金				1,681				
									一般財源				2,161				
計						9,445		計						9,445			

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
漁業就業者数(人)	目標	65	65	65	65	65	B
	実績	65	66				
【評価】							
漁業の再生を図り、本町の漁業を活性化することで漁業就業者数を維持することができた。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	加藤 孝幸
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-2-4
事業概要	○漁船漁業者の操業を支援（漁船漁業燃油緊急対策事業）		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	瀬戸内町漁船漁業燃油緊急対策事業																
施策の目的	漁船漁業者の窮状に鑑み、町の水産業振興施策と連携しながら漁船漁業者の操業意欲を確保するため、燃料費の10%を補助することで、漁家経営の安定と水産物の安定供給を維持する。																
具体的な施策内容	瀬戸内漁業協同組合により水揚高が年間50万円以上の組合員が使用する漁業用燃油の購入費を助成する場合に要する経費について、予算の範囲内において補助金を交付する。 (漁業用燃油購入費の10%)																
【経費内訳】																	
款	6	項	3	目	1	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	136_瀬戸内町漁船漁業燃油緊急対策事業				2,621		一般財源				2,621					
計						2,621	計						2,621				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
漁業用燃油量	目標	275,000L	280,000L	285,000L	290,000L	295,000L	C
	実績	254,883L	234,257L				
【評価】							
<p>昨年度に引き続き、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の影響で需要が落ち込み、出漁する船が減少したため、燃油量が減少した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が終息し、水産物の需要が回復することで出漁する漁船が増加すると同時に燃油消費量も増加すると想定されるため、水産物の安定供給を支援する各種施策と連携していく。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	水産観光課	係名	水産振興係	担当者名	禧久 幸太
----	-------	----	-------	------	-------

基本目標		項目	1-2-4
事業概要	○水産物を沖縄本島まで出荷する際の輸送費を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	水産物流通支援事業		
施策の目的	水産物の出荷団体が、奄美群島から沖縄本島まで出荷する際の輸送費の一部を補助することにより、販路拡大等を行う。		
具体的な施策内容	奄美群島と沖縄県は、地理的、歴史的、文化的につながりが深く、住民生活の関わりも深い地域である。また、奄美群島から沖縄本島へは、多くの水産物が出荷されており、沖縄本島は、鹿児島県本土と同様に一大消費地となっているので、奄美群島の水産業にとって重要な消費地である沖縄本島への販路拡大等を促進する必要があるため、沖縄本島までの輸送費の一部を補助し、負担を軽減することによる販路拡大等の効果をあげる。		

【経費内訳】

款	6	項	3	目	1	事業	4	(単位:千円)	款	15	項	2	目	4	節	3	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		節	細節	費目名			金額					
18	2	負担金、補助及び交付金			4,468		7		国庫支出金			2,234					
							7		県支出金			447					
									一般財源			1,787					
計					4,468		計					4,468					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
水産物出荷量	目標	695,000kg	615,000kg	615,000kg	615,000kg	615,000kg	C
	実績	615,000kg	550,000kg				
【評価】							
新型コロナウイルス感染症の影響で需要が落込み、昨年度より出荷量が減少したが新型コロナウイルス感染症の終息することで出荷量が増加すると予想される。							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-5
事業概要	○新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	瀬戸内町振興開発事業		
施策の目的	瀬戸内町長期振興計画に基づき、新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備を推進していく。		
具体的な施策内容	新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備の事業計画書の提出を受け、瀬戸内町振興開発審議会にて、調査・審議を行う。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位: 千円)	款	項	目	節	(単位: 千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R 3 は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2～R6

KPI (指標名)		R 2 (H29分)	R 3 (H30分)	R 4 (R1分)	R 5 (R2分)	R 6 (R3分)	自己評価
1人あたりの町民所得 (千円) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,277	2,454	/	/	/	
県民所得との対比 (%) ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90.0	A
	実績	90.6	97.8	/	/	/	

【評価】

令和3年度においては、当事業に係る案件はなかった。今後、町内で新たな産業の振興及び開発の拠点となる施設の整備が行われようとする際には、環境や法律の専門家及び開発を進めようとする地域の周辺集落などの意見を集約し、適切な開発に努めていく。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-2-5
事業概要	〇大学等との包括連携をととした商品開発及び人材育成		

会計区分	一般会計	会計名							
事業名	包括連携協定に基づく新商品開発事業（キビ酢を活用したサプリメント開発）								
施策の目的	大学との包括連携協定に基づき新商品の開発に向け、必要となる手続きや資金調達など様々な実施主体に働きかけ、協働で取り組む。また、新商品を販売していくとともに販路を拡大していき、新商品を瀬戸内町の特産品として定着化することを目指す。さらに、地域の雇用創出と経済の活性化を図る。								
具体的な施策内容	本町の重要な特産品である「キビ酢」を最大限に活かした新商品を開発し、さとうきびやキビ酢生産者の生産意欲の向上と生産量の確保・拡大を図る。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R 3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
1人あたりの町民所得（千円） ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	2,080	2,100	2,120	2,140	2,160	A
	実績	2,277	2,454				
県民所得との対比（%） ※数値の公表は調査から3年かかる	目標	86.2	87.2	88.1	89.1	90.0	A
	実績	90.6	97.8				
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を行っていくため補助事業等がないか検討する。（地方創生交付金、奄振など） ・健康に良いとか長寿の源とか、地元の言い伝えなどを集める。 ・ソフトカプセルになった際の販路を検討する。 ・試作品をどの程度作ってもらうか検討する。 ・キビ酢以外に取り込む成分を検討する。（黒糖・タンカン・ゴマなど） ・キビ酢の生産量を把握して年間どのくらいソフトカプセルを作ってもらうか検討する。 ・試作品から本格商品販売まで外注先の選定を含め、本町として本事業をどのようにしていきたいのか流れを整理する。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	隆 忠和
----	-------	----	-------	------	------

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	〇しごと部会において就労を希望する人材と事業所を支援		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	“我が事・丸ごと”支え愛事業（しごと部会）		
施策の目的	一人ひとりに応じた多様な「働く」を支援		
具体的な施策内容	1. 求人・求職情報の集約・提供 社協の無料職業紹介所 シルバー人材センターの活用促進 2. 多分野連携による多様な就労・就労訓 練機会の提供 セミナーの開催 3. 関係機関連携による就労準備を含む きめ細かな就労支援 情報共有と支援ノウハウの蓄積 研修会の開催		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		R 3 は経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標（KPI） R2～R6

KPI（指標名）	R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
求職登録事業者の状況	目標	2社	2社	2社	2社	2社	D
	実績	0社	0社	/	/	/	
求職登録者の状況	目標	2人	2人	2人	2人	2人	D
	実績	0人	0人	/	/	/	
就労紹介の状況	目標	2人	2人	2人	2人	2人	D
	実績	0人	0人	/	/	/	

【評価】

●社協の無料職業紹介所（生活困窮者が対象）に関し、令和2年度より感染拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により、求職登録事業者事態が無く、就労へ結びつけることができておりません。しかし、ハローワーク名瀬求職活動記録記載は約247件でした。

また、しごと部会については、令和4年2月に開催予定でしたが、年明け以降の爆発的な市中感染が拡大しておりましたので未開催であります。

なお、各町内事業所に対し、就業体験可能な事業所の情報収集を行うためアンケート調査を行いました。提出事業所が少なく、令和4年度もアンケート調査を行い、しごと部会内においての情報共有及びグループワーク等に繋げたいと思います。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○町内で新たに創業する起業家を支援するための助成		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	瀬戸内町起業家支援補助金交付事業																
施策の目的	本町の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図ることを目的として、町内で新たに起業する者に対し、起業する際に必要な経費の一部を助成する。																
具体的な施策内容	補助対象経費（補助率は50%、補助限度額50万円） ・店舗、工場等の建設費，取得費及び改修費 ・店舗，駐車場等の賃借料（最高6か月分） ・広告宣伝費（ホームページ作成費含む。） ・起業に必要な設備費等																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
		R3は、経費なし。															
計				0				計				0					

重要業績評価指標（KPI） R2～R6							
KPI（指標名）		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
起業数（社）	目標	3	3	3	3	3	D
	実績	3	0				
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は起業家支援として3件を目標としていたが、1件の相談のみにとどまった。 瀬戸内町商工会と協議し、よりよい補助金となるよう取り組む。 起業を目指す者が新たに事業を起こしやすいよう、また、既存の事業所が事業を拡大しやすいよう、瀬戸内町起業家支援補助金交付要綱の見直しを図り、よりよい補助金となるよう取り組む。 押印を無くし、申請書類等の簡略化を図る。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	商工交通課	係名	商工交通係	担当者名	徳田 みつみ
----	-------	----	-------	------	--------

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○安定的・持続的な企業経営を可能にするために給付金等を支給		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	商工業制度資金利子補給事業		
施策の目的	瀬戸内町商工会に加入している商工業者が、設備資金及び運転資金として借り入れた制度資金を対象に利子補給し、町内商工業の育成及び振興を図る。		
具体的な施策内容	補助対象事業者数：4事業者 補助対象金額合計：11,998千円 補助率：融資利率を上限とし、借入金額の1% 補助金額合計：118千円		

【経費内訳】																			
款	7	項	1	目	2	事業	1	(単位：千円)	款		項		目		節		(単位：千円)		
歳出内訳								歳入内訳											
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額						
18	2	補助金				118			(一般財源)				118						
計								118		計								118	

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6									
KPI (指標名)			R2	R3	R4	R5	R6	自己評価	
補助対象事業者数の状況(社)			目標	10	10	10	10	10	B
			実績	7	4				
【評価】									
国・県の新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金などの利用で前年度に比べ利用者は減ったが、利用できなかった事業者にとっては、町の「利子補給制度」事業実施による金融面での手厚い支援により、町内商工業の経営安定と発展の一助となった。									

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	手嶋 祥大
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	〇起業・事業拡大などにチャレンジする民間事業者を助成		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	奄美群島広域事務組合負担金 (奄美群島民間チャレンジ支援事業)																
施策の目的	奄美群島内在住の方へ起業や事業拡大の機会を提供し、奄美群島全体の振興を目的とする。																
具体的な施策内容	個人・団体・企業等が自らのアイデアや現有する資源を用いて起業や事業拡大・新商品開発等を行おうとする事に対し、事業資金の助成を行うことで、民間の新たなチャレンジを支援する。																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額		細節	費目名			金額						
18		負担金			5,445			一般財源			5,445						
計					5,445		計					5,445					

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	D
	実績	/	/	/	/	/	
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	D
	実績	/	/	/	/	/	
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。</p> <p>R3年度において、奄美群島全体から47件の応募があり、内11件が採択された。その内瀬戸内町在住者からの応募は4件あり、内1件が採択されている。平成26年度に事業が開始されて以降、瀬戸内町からは延べ21件の応募があり、今年度分を合わせて4件の事業が採択されている。</p> <p>当事業は、起業や事業拡大の機会の提供、瀬戸内町をはじめとした奄美群島全体の振興という効果がある。今後は、今までに事業を活用した人同士のネットワーク形成やアフターフォローなど、事業のさらなる発展に向け広域事務組合と協力していく。</p> <p>※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。R2からは目標に向けて、年次的に上昇。数値確定は、「経済センサス」において、年度終了の2年後に公表される。</p>							

(令和3年度分)第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	手嶋 祥大
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○商品開発やマーケティングなど起業家を育成する研修を実施		

会計区分	一般会計		会計名														
事業名	奄美群島広域事務組合負担金(奄美群島 with CAMPFIRE)																
施策の目的	奄美群島独自のクラウドファンディングサイトの整備及び産金学官の連携による群島内スタートアップ事業の支援体制の構築を支援することにより、「奄美群島成長戦略ビジョン」実現に寄与する産業振興及び人材育成施策としてのクラウドファンディング活用の効果性について実証的に検討する。																
具体的な施策内容	◎地理的・社会的経済的特性を踏まえた独自のクラウドファンディングの導入及び運営 ◎クラウドファンディングプラットフォーム運営の効果性向上に資する運営体制及び群島内起業支援 ◎クラウドファンディングを活用した起業家人材の創出に資する機運醸成及び域内人材参画促進																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	12	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳							歳入内訳										
節	細節	費目名		金額		細節	費目名		金額								
18		負担金		5,445			一般財源		5,445								
計				5,445		計				5,445							

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	D
	実績	/	/	/	/	/	
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	D
	実績	/	/	/	/	/	
【評価】							
<p>当事業は奄美群島広域事務組合が群島内各市町村からの負担金によって行う奄美群島成長戦略ビジョン実現推進事業の一部である。</p> <p>R3年度の実績として、本町からの活用希望者はいなかったが、奄美群島全体で2名の方が挑戦し、プロジェクトを開始している(R2年度サイト開設以来8名の方がクラウドファンディングに挑戦し、約6,300千円を資金調達)。今後も奄美群島広域事務組合と連携し、奄美群島全体の発展に寄与する事業を実施していく。</p> <p>※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。R2からは目標に向けて、年次的に上昇。数値確定は、「経済センサス」において、年度終了の2年後に公表される。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係	担当者名	手嶋 祥大
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-3-1
事業概要	○奄美群島振興開発基金による事業資金の供給		

会計区分			会計名						
事業名	奄美群島振興開発基金による事業資金の供給								
施策の目的	奄美群島における産業の振興開発を促進し、群島経済の発展に寄与するため「振興開発計画に基づく事業に伴い必要な資金を供給すること等により、一般の金融機関が行う金融を補完し、又は奨励すること」を目的としている。								
具体的な施策内容	奄美群島において事業を営む方々に必要な資金を長期かつ低利で融資している。								
【経費内訳】									
款	項	目	事業	(単位：千円)	款	項	目	節	(単位：千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
就業者数 ※基準値 H28→2,911人	目標	2,960	2,970	2,980	2,990	3,000	D
	実績						
事業所数 ※基準値 H28→537事業所	目標	539	540	542	546	550	D
	実績						
【評価】							
<p>当事業は奄美群島振興開発基金が行う事業資金や運転資金の貸付事業である。</p> <p>R3年度の本町内事業者への貸付実績として、流通・加工業等振興1件、観光関連産業振興3件、地域活性化・雇用促進資金1件、合計5件であり、合計貸付額は26,170,000円となっている。</p> <p>一般的な金融機関よりも低利な利率での貸付を行っており、施設整備等による事業拡大や経営安定改善に大きな役割を果たしている。</p> <p>今後も、奄美群島振興開発基金と協力していきながら、町内企業の成長・発展に寄与していく。</p> <p>※KPI設定は、総合戦略におけるR6の目標値を設定。R2からは目標に向けて、年次的に上昇。数値確定は、「経済センサス」において、年度終了の2年後に公表される。</p>							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2
事業概要	○町内で新設・増設する企業を企業立地促進補助金で支援		

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	企業立地等促進助成事業																
施策の目的	企業に対し、特に必要と認められる助成措置及び便宜供与を講ずることにより、企業の育成及び誘致を促進し、もって本町の産業の振興と雇用の増大を図る。																
具体的な施策内容	<p>企業に供する新たな用地を取得し又は賃貸借し、当該用地の取得又は賃貸借後2年以内に操業を開始する。</p> <p>企業の設備投資額が2,000万円以上であること。</p> <p>企業の設置に伴って増加する新規地元雇用者の数が、当該企業の操業開始後1年以内において3人以上であること。</p> <p>企業の誘致について、町と直接、立地協定を締結し、当該協定に定める義務等が履行されていること。</p>																
【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	18	事業	1	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
		R 3は、経費なし。															
計						0	計						0				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
起業数(社)	目標	1	1	1	1	1	D
	実績	0	0				
【評価】							
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は企業立地等促進として1件を目標としていたが実績はなかった。 瀬戸内町商工会と協議し、よりよい補助金となるよう取り組む。 本町に企業を誘致するため、また、町内の事業所が事業を新設・拡大しやすいよう、瀬戸内町企業立地等促進条例の見直しを図り、よりよい補助金となるよう取り組む。 押印を無くし、申請書類等の簡略化を図る。 鹿児島県企業誘致事務研修会に参加し、企業誘致に向けた制度や事例の説明を受けたことから、このことを令和4年度の企業誘致の実施に活かしていく。 							

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	企画振興係長	担当者名	中島
----	-----	----	--------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2	※事業№68～70と同(再掲)
事業概要	○町内へ企業誘致をするため職場環境のスペースを提供			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業(すこやかHUB)		
施策の目的	コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図る。		
具体的な施策内容	当事業は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、令和2年度からの繰越事業である。 施設整備をメイン事業とし、先進地視察・空間リニューアル助成事業・コミュニティデザイン形成事業(指定管理者業務)などによる、利用促進・受入体制の強化対策などを実施した。		

【経費内訳】																	
款	2	項	1	目	31	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	3	細節	費目名			金額	節	2	細節	費目名			金額				
8	3	3	旅費(視察旅費)			163		R 2	臨時交付金			80,521					
10	2	2	消耗品・燃料費			225		※繰越事業です。									
11	1~2	1~2	手数料			472											
12	1	1	委託料			10,393											
14	1	1	整備費			56,127											
18	1~2	1~2	負担金・補助金			13,141											
計						80,521	計						80,521				

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
利用する契約企業数(年間契約)	目標	/	3	4	4	4	A
	実績	/	4	/	/	/	
利用者数(延べ)	目標	/	270	1080	1560	1560	B
	実績	/	224	/	/	/	

【評価】	
○令和3年度は主に、施設整備と、効果的・効率的な施設運営を目指した「コミュニティデザイン形成事業(指定管理者業務補助金)」、町内受入体制の強化として、町内の遊休資産を有する事業者の方に対し、宿泊施設や新たなテレワーク施設への改修を促し、その経費に対し助成する「空間リニューアル助成事業」を実施した。※「空間リニューアル助成事業実績=4地区の物件に対し助成。(助成額=3,141千円)	
施設整備は、コロナの影響により完成が遅れたものの、R3.12.23に完成、R4.1.11にプレオープン、R4.2.25にグランドオープンすることができた。	
「コミュニティデザイン形成事業(=補助金額10,000千円)」では、施設イメージ設計への参画、先進地視察により全国で好展開を図っている類似施設から取得したものの当施設への活用、円滑な施設利用に係る環境整備、サイト作成やプレスツアーの実施による、周知広報展開が実施され、初年度として十分な実績となった。	
令和4年度に向けては、指定管理者と連携を図り、施設利用促進のためのメニュー開発や、島外企業などへの積極的な施設活用誘致、そして引き続き、町内受入体制の強化を実施していく。	
※KPIの利用者数(延べ)の未達成理由は、グランドオープン延期(コロナ影響)によるもの。	
※R4利用者数KPIは、コロナ禍を考慮し、修正しています。(前年提示1,248人)	

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	産業立地係	担当者名	佐多
----	-----	----	-------	------	----

基本目標	1	項目	1-3-2	※事業No.79と同(再掲)
事業概要	○町内で起業するための拠点施設として廃校を活用			

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	農山漁村振興交付金事業(旧久慈小中学校活用)		
施策の目的	旧久慈小中学校の活用に向け、地域が抱える課題解決を図り、将来にわたって自立的発展を成し遂げていくため、本地域独自の自然景観・文化、農林水産物や水産加工品等、様々な地域資源を十分に活用する。また、農業体験型・滞在型観光メニューの造成や民泊を含む宿泊業者と連携しながら、交流人口・滞在人口の増加を図る。		
具体的な施策内容	通過型観光から滞在型観光への転換で、観光客の滞在期間の増につなげる。・新たな産業の誘致・起業支援として、旧久慈小中学校の校舎の一部を改修し、ワーケーション施設を整備する。・本地域でとれた野菜や果物、魚を素材とした料理、本地域で作られた魚醤で調理された料理を提供する。・地域の魅力を積極的に情報発信として、本地域の宿泊施設や食事処、体験プログラムを紹介する。・循環型農業を実現し、地産地消カフェを整備する。		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名		金額	細節	費目名		金額	
		R3は、経費なし。							
計				0	計				0

重要業績評価指標(KPI) R2~R6							
KPI(指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
宿泊者数(人)	目標			100	500	600	
	実績						
売上高(宿泊・食事・体験)(千円)	目標		200	1,000	1,500	2,000	D
	実績		20				

【評価】

・令和3年度の進捗状況等を踏まえ、令和4年度はワークショップを2回、協議会を3回ほど開催し、事業全体の進捗確認と、より具体的に計画の深化を図っていく。・全体事業計画が誰にでも見やすくわかりやすく、イメージしやすいようにするため、イラストを作成する。・宿泊施設確保に向け、具体的に設計及び建設に取り組む。運用方法については、収支の考え方や管理体制などを検討する。また、宿泊施設のオンライン予約や本地域の魅力発信のため、情報発信の仕組み作りを行う。・魚醤づくりのための施設整備を行うため、具体的に設計及び建設に取り組む。資金をクラウドファンディングで集められないか検討する。・本地域は、幕末から明治期の日本の近代化を支えた歴史的な施設や戦跡などが数多く残されているため、これら施設を観光コンテンツとして活用することを検討する。また、感染症対策をしっかりと考慮した上で、実際に戦跡巡りツアーを実施し、観光コンテンツとして確立を目指す。

(令和3年度分) 第2期「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における評価・検証

課名	企画課	係名	情報政策係	担当者名	渡辺 大丈
----	-----	----	-------	------	-------

基本目標	1	項目	1-3-2
事業概要	○町内全域の光ファイバ整備		

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	無線システム普及支援事業費等補助金		
施策の目的	民間の通信事業者による光ブロードバンドサービスは一部地域に提供されているのみであり、加計呂麻島等残る地域は未提供となっている。 光ブロードバンドを整備し、通信環境の地域間格差を解消し町内地域情報化の推進を図る。		
具体的な施策内容	瀬戸内町の伝送用専用線設備を整備することで、通信環境の地域間格差の解消、瀬戸内町の地域情報化を推進し、町民生活の利便性向上や地域活性化を図る。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	32	事業	1	(単位:千円)	款	21	項	1	目	30	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名			金額			細節	費目名			金額					
18	1	負担金			225,400				R 2	臨時交付金			75,862				
								1	過疎債			92,200					
									(一般財源)			57,338					
計					225,400			計					225,400				

重要業績評価指標 (KPI) R2~R6							
KPI (指標名)		R2	R3	R4	R5	R6	自己評価
光ブロードバンド情報通信基盤整備	目標	100	100	100	100	100	A
	実績	100	100				
【評価】							
<p>●事業の実施により、光ブロードバンドサービスが加計呂麻島全域に提供され、情報格差の解消が図られた。地域住民や産業などあらゆる分野における地域振興、今後ますます進展していく少子高齢化や労働力不足などの社会的問題の解決、経済活動の活性化等、今後地方創生の推進に寄与できる。また請・与路島については未整備となっているが、国の新補助制度創設等の動向を注視しつつ、既存の補助事業要綱の改正及び特例装置等での対応ができないものか引き続き国に働きかけていく。</p>							